

今秋 10 月から水痘の予防接種が定期接種になり、無料で受けられるようになります。

水痘とは、「みずぼうそう」とも呼ばれる感染症の一種です。

水痘帯状疱疹ウイルス(VZV)の感染によって引き起こされます。

咳やくしゃみによる飛沫感染のほか、空気感染、接触感染によって広がります。



潜伏期間はおよそ2週間前後です。主な症状として、発熱・発疹(水痘)があります。発疹のでる1~2日前から感染力があります。同居家族が発症した時、水痘にかかったことがないお子さんがいる場合はすでに感染している恐れがあるので注意が必要です。また、すべての水痘がかさぶたになるまで感染力があります。

水痘は年間100万人程度の方が発症し、4000人程度が入院、20人程度が亡くなっているといわれています。発症のほとんどは子どもですが、成人の感染例では水痘そのものが重症化することがあります。また、妊婦の感染例では母体の重症化だけでなく、赤ちゃんへのリスクも懸念されます。



その予防として水痘生ワクチンの接種があります。水痘ワクチンは弱毒化された水痘帯状疱疹ウイルスから得られた生ワクチンです。本邦使用される水痘ワクチンは、高い安全性の評価を受けています。副作用はまれですが、過敏症・発熱・発赤などの副作用は起こりえます。

ワクチンの接種によって水痘の重症化を予防できるだけでなく、帯状疱疹の発症や重篤化を軽減できるのではないかと期待されています。

厚生労働省 水痘ワクチン Q&A リンク

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/varicella/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/varicella/index.html)